



朝早くからしめ縄を飾った曲手組のみなさん



「おてじんさん」について教えてくれた西坂さん

話すのは、平田曲手組の令和4年の座元を担当する西坂勝憲さん(72)です。以前は1月に「雨願掛け」、9月に「願ほごき」という一連の神事も行われていたそうです。

この祭りは上地区でも開催されま

す。「祭りの起源などの記録は残されていませんが、古くからこの地域で守り伝えられている習わしです」と話すのは、三浦年治さん(86)です。上地区ではご神体のサカキの木が令和2年の台風で倒れてしまいましたが、新しく組んだ石を祭祀の対象とし、四隅に笹竹を立てしめ縄を張った立派な飾りが供えられました。こちらは昼から始まりなごやかな雰囲気の中、夕刻に終了しました。また他の地区でも「天満宮」や「妙見さん」、「白馬社」で祭りが行われるなど、地域の信仰の厚さが伝わります。



上地区の長老の三浦さん



平田上地区の「おてじんさん」



12月10日に「おてじんさん」に集まった平田上地区の皆さん

物作りが評判の西村義行さん(75)に出会いました。建設業を営んでいた西村さんは勇退後、手先の器用さを生かして竹製品やほうきなどを作

## 毎日が日曜日で 人生謳歌

西村さんですが、その腕前はプロ級です。

自宅玄関では、妻の千恵子さん(68)飾り付けのクリスマス飾りが訪れる人の目を喜ばせていました。「季節ごとに飾り付けを変えるんですよ」と明るい笑顔を見せる千恵子さん。日々の暮らしを楽しく彩りながら、人生を謳歌しているお二人でした。

つくり。自宅の納屋の2階に案内されてびっくり。西村さんが手作りしたという椅子やテーブルなど立派な家具がいくつも置かれており、まるで展示場のような様子。「毎日が日曜日。他にすることのなかった」と謙遜する



上/西村義行さんが手作りの竹べらと箸

左/大切にしているトラのぬいぐるみと一緒に。西村千恵子さん



物作りが好きな義行さん